

コミュニティ・スクール (CS) みんなの「共通の願い」

誰もが自分らしく生き生きと過ごす。誰もが自己表現し、対話する。誰もが自己効力感・自己肯定感がある。誰もが気軽に商店・公共施設や交通機関・福祉サービスを利用する。誰もが気軽に地域の活動に参加する。

そんな子どもに育ってほしい!

そんな地域になってほしい!

⇒CS 3つの協働: ①みんなで環境づくり ②みんなで研修 ③みんなで防災



中教審の審議⇒ 特別支援学校の論点

- ◆個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ◆学習指導要領各教科等内容の着実な履修
- ◆学習指導要領解説に基づく自立活動の充実
- ◆合理的配慮の提供を含め、一人一人の教育的ニーズに応じた質の高い特別支援教育

教育・福祉の連携施策⇒ 特別支援学校への要請

- ◆強度行動障がいの誘発・悪化を防ぐ専門性向上
 - ◆知的障がい、自閉スペクトラム症に応じた「標準的な支援」^(注2)の実施
- (注2) 個人因子と環境因子を併せてアセスメントし、環境要因を調整していく支援 (厚生労働省 障発発0627 第1号通知)



学校教育目標: 自分のことは自分でしよう みんなとなかよくしよう じょうぶな体になろう

<中学部で育成したい資質・能力>

できることを増やそうとする力。いろいろな人とかかわりあおうとする力。健康な生活をしようとする力。

<小学部で育成したい資質・能力>

できることを自分でしようとする力。まわりの人と仲良くしようとする力。元気に生活しようとする力。

目指す資質・能力を育成するために! 重点目標①

「各教科等の個別の指導計画」に基づく、一人一人の目標、手立て、育成したい資質・能力が明確な授業

- ◆学習指導要領解説と子どもの実態を根拠に作成した「個別の指導計画」に基づく授業のPDCA
- ◆「指導の個別化 (特性や発達に応じた指導)」と「学習の個性化 (興味関心等に応じた指導)」による個別最適化

目指す資質・能力を育成するために! 重点目標②

学習指導要領解説自立活動編に準拠した「自立活動の個別の指導計画」に基づく、一人一人に適した自立活動

- ◆実態把握、収集した情報の分析から指導目標・指導内容の設定に至るまでの筋道が的確な「個別の指導計画」
- ◆強度行動障がい研修や先行実践等の知見を活かした、子どもが主体的に取り組み成就感を味わえる指導の工夫

目指す資質・能力を育成するために! 重点目標③

地域の間・施設を計画的に活用し、地域の人材・機関・組織と積極的に連携・協働する教育

- ◆地域とかかわり、豊かな体験を重ねることで資質・能力を育み、みんなの「共通の願い」に迫る教育実践
- ◆課題解決のため、地域の人材・専門家・機関・団体組織と積極的に連携・協働する教育実践

目指す学校づくり チェックポイント



チェックポイント① 子どもの人権を守り、支持的風土の学校

特別支援教育は、「障害者権利条約」の国連採択を機に誕生した言葉です。人権を守る取組は、障害者虐待防止法、障害者差別解消法、新潟市共生のまちづくり条例と進んでいます。私たちは、格段の人権感覚を保持し、子どもの人権を守り、支持的風土 (認め合い、助け合い、期待を掛け合い、高め合う温かい風土) の学校をつくります。

チェックポイント② 個別最適な研修と協働的な研修の一体的な充実を図る学校

教職員数では、県内最大規模の学校になりました。教職員各自が資質・能力を一層高め続けながら、ワンチームとなって9か年の学校教育を推進するために、個別最適な研修と協働的な研修の一体的な充実を図る学校をつくります。

チェックポイント③ 質の高い特別支援教育を持続可能にするために、働き方改革に取り組む学校

職員の健康・福祉を守り、子どもの姿を思い浮かべながら授業の準備・改善や研修を行う時間が確保でき、活力と創意工夫に富む教育を持続できる組織となるために、働き方改革に取り組む学校をつくります。